



にしきの つうしん
錦乃通信
Mamiya J.H.S. School News

令和7年10月31日(金)

さいたま市立馬宮中学校

令和7年度 第7号

学校教育目標

未来を拓け ～自己の創造・生きる自信～

SINCE 1947

School Education Goal

Open your Future ～Self Creation ・ Confidence to live～

響き合う心、深まる絆

校長 ^え衛 ^{とう}藤 ^{しん}伸 ^{すけ}介

秋の深まりとともに、校庭の木々が色づき、朝夕の空気には少しずつ冬の気配すら感じられるようになりました。季節の移ろいの中で、生徒たちは日々の学びに励み学校生活を充実させています。保護者や地域の皆様におかれましても、健やかに過ごしのことと存じます。

先週行われた合唱コンクールでは、どの学級も素晴らしい演奏を披露し、会場全体が感動に包まれました。生徒たちは、限られた時間の中で練習を重ね、仲間とともに一つの音楽を創り上げるという貴重な経験を積みました。実行委員や指揮者・伴奏者及び各パートのリーダー等を中心に、互いに声を掛け合い、時には意見をぶつけながらも、最後には心をひとつにして歌い上げる姿に、私たち教職員も胸を打たれました。

歌詞の意味を深く理解し、感情を込めて歌う姿には、学年ごとのよさが感じられました。特に、3年生の演奏には、中学校生活最後の合唱コンクールを歌い上げるという生徒たちの想いが込められており、聴く人の心に深く響いたことと思います。審査結果に関わらず、どの学級もそれぞれの個性と努力が光る演奏を届けてくれました。合唱コンクールを通じて得た達成感や仲間との絆は、今後の学校生活にも大きな力となることでしょう。

また、同じ頃には市内駅伝大会が開催され、本校からも選抜された生徒たちが出場しました。午前中の冷たい空気の中、仲間の声援を背に受けながら、懸命にタスキをつなぐ姿は、まさに「心と心をつなぐ駅伝」そのものでした。走者一人ひとりが自分の区間に全力を尽くし、仲間の想いを胸に走る姿には、見守っていた私も思わず胸が熱くなりました。

結果も大事だとは思いますが、むしろその過程にこそ真の価値があります。練習期間中、体力的に厳しい日もあったとは思いますが、互いに励まし合いながら乗り越えた経験は、生徒たちにとって大きな自信となったことでしょう。駅伝は、個人の力だけでなく、チームとしての結束力が試される競技です。合唱コンクールと同様に、仲間との信頼関係や責任感を育む貴重な機会となりました。

このような行事を通じて、生徒たちは「協力することの大切さ」「自分の役割を果たす責任」「仲間とともに目標を達成する喜び」を学びました。これらは、教室での学びだけでは得られない、かけがえのない教育の一環です。今後も、こうした経験を積み重ねながら、生徒たちが自らの可能性を広げていけるよう、教職員一同支援してまいります。

最後になりますが、寒さが一段と増す季節となります。どうか体調管理に御留意いただき、健やかな日々をお過ごしください。生徒たちが安心して学び、成長できる環境づくりに、教職員一同、引き続き尽力してまいります。